

平成29年度 富士見町当初予算

～活力の創出と住みよい町づくり～

一般会計 69億3,755万円

平成29年度は「富士見町総合戦略」、「第5次総合計画」に基づき、今後の富士見町の活力の創出につながる施策、住みよい町づくりのための施策を基本に、「選択と集中」による積極的な予算編成としました。

今年の予算は、 どのくらい？

下の図は、一般会計予算額の歳入歳出の内訳です。平成29年度当初予算額は、69億3,755万円（前年度比2億1,955万円増）となり、過去5年間で一番大きな予算規模となります。

歳入のうち、もっとも大きな割合を占めている「町税」については、景気回復基調を背景に、個人住民税の増額と、家屋の新増築、企業の設備投資による固定資産税の増額を見込んでいます。法人住民税は企業動向から減額を見込んでいますが、町税全体としては、前年度比1.8%、407.9万円増の23億5,297万円となっています。さらに、今年度は「ふるさとみらい寄附金」1億円を目標として当初予算に計上しているため、大きな予算規模となりました。

歳入の中で、財政健全化を示す自主財源の割合は2.3%の増で48.7%となります。

富士見町 第5次総合計画

- ① 人口の維持
- ② 健全財政の維持
- ③ 健康・福祉のまちづくり
- ④ 安心安全のまちづくり
- ⑤ 農業の復活
- ⑥ 観光強化
- ⑦ 教育・子育てのまち富士見
- ⑧ 安定した行政運営

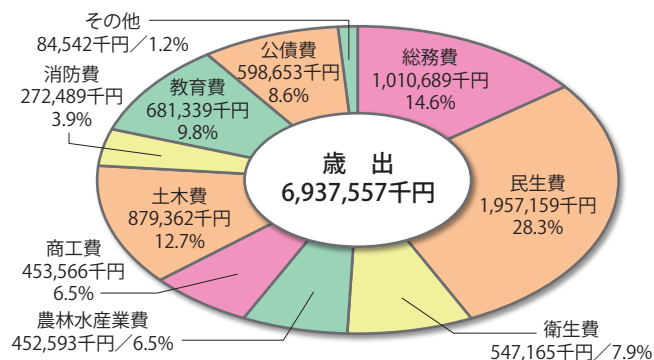
また、歳出については、人口減少対策や、教育と子育てのまちづくり、健康・福祉のまちづくりのための事業について、「重点施策」として取り組みを進めます。

地方創生関連事業としては、平成28年度補正予算へ1億5,000万円計上しています。これは国の補正予算に伴うもので、子どもから高齢者まで、積極的に交流ができる施設を整備し、地域の活性化につなげるための事業に対する交付金で、町では「ゆめの森公園整備事業」について取り組みを行います。

そのほか、安心安全のまちづくりや農業の復活、観光強化、教育のまち富士見について、それぞれ選択と集中により拡充を図り、取り組みを行っていきます。

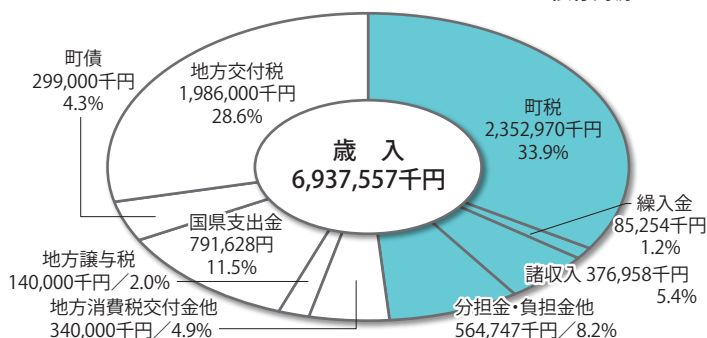
今年度も財源を確保できる見通しから、当初予算においては、財政調整基金に頼ることのない、予算編成となりました。

一般会計予算目的別構成割合



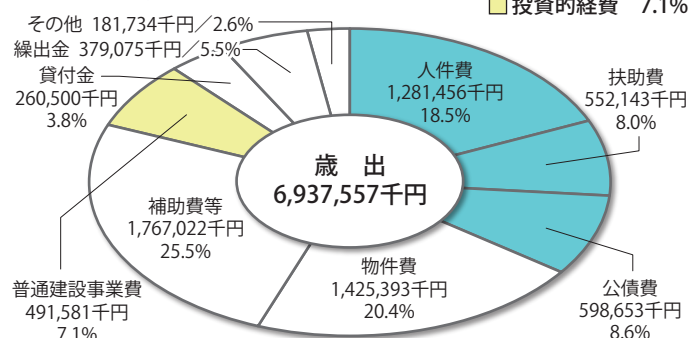
一般会計予算歳入別構成割合

自主財源 48.7%
依存財源 51.3%

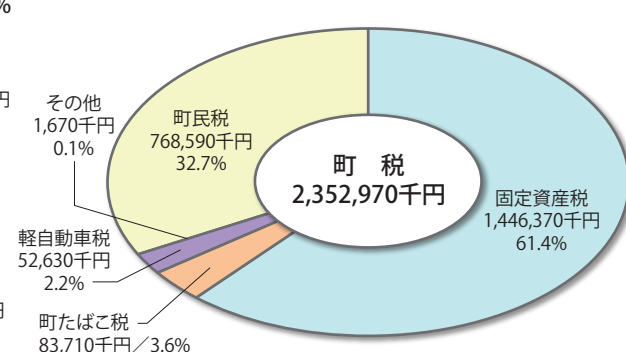


一般会計予算性質別構成割合

義務的経費 35.1%
投資的経費 7.1%



一般会計予算町税構成割合



※国や県からの補助金などを「依存財源」といい、これに対して町税などの町が自ら収入するものを「自主財源」といいますが、収入全体に占める自主財源の割合が高いほど健全な財政といえます。

一般会計当初予算 性質別前年度対比表

(単位:百万円)

区 分	H29	H28	増減
人 件 費	1,281	1,233	48
物 件 費	1,425	1,392	33
維 持 補 修 費	46	46	0
扶 助 費	552	537	15
補 助 費 等	1,767	1,684	83
一部事務組合	590	589	1
そ の 他	1,177	1,095	82
普 通 建 設 事 業 費	492	533	△41
補 助 事 業 費	97	165	△68
単 独 事 業 費	395	368	27
災 害 復 旧 事 業 費	0	0	0
公 債 費	599	613	△14
積 立 金	130	35	95
貸 付 金	261	261	0
繰 出 金	379	379	0
予 備 費	5	5	0
合 計	6,937	6,718	219

町の支出、性質別経費とは？

町の支出（歳出）を性質に着目して分類したもので、「人件費」や「扶助費」「補助費」「普通建設事業費」などに分けられます。左の表は性質別経費を前年度と比較したものです。

特に予算全体における構成比の大きなものとして、人件費は職員・議員委員等の給料や共済費などで、全体の18.4%、物件費は賃金や旅費、委託料・備品購入費などで、全体の20.5%、扶助費は生活保護費や児童手当などで、全体の7.9%、補助費等は、国や他団体、一部事務組合に対する負担金などで、全体の25.4%、普通建設事業費は、建設工事に係わるもので、全体の7.1%、公債費は、起債の償還に係る元金及び利子で、全体の8.6%となっています。

この性質別予算のうち、人件費、扶助費、公債費は「義務的経費」、普通建設事業費は「投資的経費」と分類されます。

平成29年度の主な取り組み

★重点施策

○テレワーク推進事業 …… 3,200万円

富士見森のオフィス（サテライトオフィス）やホームオフィスに入居する企業と連携し、町の産業を強化していくとともに、新しいワークライフバランスの発信をしていきます。また、企業誘致に向けた取組や、地域住民とのコミュニティづくりを行います。

○空き家対策事業 …… 1,700万円

空き家を増加させないための対策計画を策定します。また、町内の空き家所有者と移住・定住希望者とのマッチングを実施し、居住する場合には空き家の改修費について一部を補助し、空き家の利活用を促進します。

○子ども・子育て、教育のまち関連事業 …… 1億2,500万円

待機児童ゼロ対策や児童クラブの充実を図るため、保育士および指導員を充実させます。また、家庭子育て補助金（3歳未満児の第3子以降の乳幼児で、保育園等に入園をしていないお子さんを家庭で育児している方に1ヶ月あたり2万円を支給）を継続します。故郷Uターン支援奨学金利子補助金交付事業（大学等進学資金を借り入れた保護者に、借入利子の一部を補助）の実施と学校施設の改築に向けて、基金への積立てを行います。

○健康・福祉関連事業 …… 4,500万円

旧恋月荘の一部を改修し、高齢者の健康増進や交流施設としての運動スポットを整備、関係団体と連携しながら、介護予防に向けた新しい取り組みを行います。

○ゆめの森公園整備事業 …… 1億5,000万円（平成28年度繰越事業）

町民が気軽に集い、親しみ、安らげる交流施設の整備を行うため、今年度本工事を実施します。

○有害鳥獣モニタリングシステム事業 …… 1,360万円（平成28年度繰越事業）

有害鳥獣の位置や電気柵および捕獲わなの配置・稼働状況をデータによる可視化するシステムを構築し、専門家と連携しながら被害の低減に取り組めます。

平成29年度 特別会計・企業会計予算額

会 計 名	H29予算額	前年比較
国 民 健 康 保 険	17億7,335万円	△1億2,165万円
後 期 高 齢 者 医 療	1億8,156万円	△63万円
観光施設貸付事業	1億4,593万円	2,245万円
富 士 見 財 産 区	1,591万円	△204万円

会 計 名	H29予算額	前年比較
本郷・落合・境財産区	4億779万円	8,445万円
乙 事 財 産 区	659万円	42万円
水 道 事 業	9億2,348万円	4,569万円
下 水 道 事 業	17億1,108万円	△9,237万円